

第2回 AOSSG 会議に向けた 準備状況

せきぐち ともかず
研究員 関口 智和

1 アジア・オセアニア基準設定 主体グループについて

2009年6月に企業会計審議会から「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書(中間報告)」が公表される等、会計基準を巡る動向は、益々国際化している。このため、国際会計基準審議会(IASB)による基準設定への影響力を高める等の観点から、会計基準設定主体において、国際的な連携をすることの重要性が強く指摘されている。

こうした中、アジア・オセアニア地域において、会計基準設定主体が連携するための組織であるアジア・オセアニア基準設定主体グループ(AOSSG)が、以下を運営目的として設立された。

- a) 各国による国際財務報告基準(IFRS)の採用及びIFRSとのコンバージェンスを促進する
- b) 各国によるIFRSの整合的な適用を促進する
- c) IASBの専門的活動に対する意見を調整する
- d) 財務報告の品質改善のため、政府や規制当局、他の地域組織や国際機関と協力する

第1回会議は、2009年11月、同地域における21か国の会計基準設定主体やIASBメンバー

等が参加した上で、マレーシアにおいて開催されている。

2 第2回 AOSSG 会議の開催

企業会計基準委員会(ASBJ)は、同グループ設立の趣旨に賛同しており、これまで、第1回会議前にも設立に向けて積極的な関与を行ってきた。また、同グループにおいて主導的な役割を果たす等の観点から、第2回 AOSSG 会議を東京に誘致することとした。同会議には、原稿執筆時点において、第1回会議の21か国を上回る国の参加が予定されており、9月29、30日に、秋葉原コンベンションホールで開催すべく準備を進めている。

第1回会議では、金融商品、公正価値評価、財務諸表の表示について作業グループが組成され、メンバー間及びメンバーとIASBメンバーとの間で意見交換が行われたが、第2回会議では、これに加え、連結、リース、保険契約、排出権取引、イスラム金融についても作業グループが組成され、作業グループのリーダーを中心に、IASBへの効果的な意見発信を目的としてメンバー間での見解の摺り合せが行われている。ASBJは、イスラム金融を除くすべての作業グループにメンバーとして参加しているほか、収

益認識についてリーダー、排出権取引について副リーダーとして会議に向けた準備を進めている。

3 おわりに

アジア・オセアニア地域は、近年、経済成長が目覚ましい他、IFRSを自国で適用又は自国基準をIFRSと収斂させていく国が多くなることが予想されており、IASBへの影響力が強まっ

ていくことが見込まれている。こうした状況の下、AOSSGは、同地域における会計基準設定主体の連携について、今後、重要な役割を果たしていくものと考えられる。このため、ASBJも第2回会議主催者として、また、第2回会議議長として、関係者の協力を仰ぎつつ、会議成功に向けて総力を挙げて取組みを進めていくことを予定している。この場を借りて、AOSSG開催に関して、ご協力、ご協賛頂いている関係各位に厚く御礼申し上げたい。